

日中友好新聞

府連通信

2007年5月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

第五六回全国大会・二七二名が集う

沖縄・福岡で組織強化大きく前進

五月十九・二十日の両日、大阪市内・NCBセンターに於いて、第五六回大会が沖縄から北海道まで272名が参加して開かれました。

伊藤敬一会長の開会挨拶、中国大使館から莫麗麗領事の来賓挨拶があり、長尾光之理事長が大会議案を提案、二日間の討議に入りました。

大阪から四十四名が代議員や評議員・大会要員で参加し、開催地大阪の渡辺武府連会長が、歓迎のあいさつを行いました。

片山英徳理事長が大阪の組織強化について「門真支部が昨秋から準備していた支部再建が、大会直前の五月六

歓迎あいさつ

長尾光之新会長

大会宣言の提案

門真支部再建表彰

二十年表彰を代表して

要員紹介



日、二十名を組織して再建総会を開催したこと、富田林でも太極拳教室の開講などで十七名と、あと一步のところまで来ている、また、大正支部も十八名で新支部の結成に近づいていること、高槻、茨木、吹田、東大阪でも支部組織の結成にむけて取り組みを強めていること、当面700名、さらに1000名を目標にして、組織強化を進めている」と発言しました。

沖繩・福岡では支部結成にとりくみ、大きく組織が強化されています。行事も毎月のように取り組み、それを通じて会員拡大も進んでいる経験が生き生きと報告されました。

門真支部再建で受賞

沖繩・福岡では支部結成にとりくみ、大きく組織が強化されています。行事も毎月のように取り組み、それを通じて会員拡大も進んでいる経験が生き生きと報告されました。

節目の年・訪中ツアーや記念のつどいを提案

歴史的な節目の年の行動提起があり『盧溝橋事件七〇周年は日本国内での活動を重視し、七月七日前後に全国一斉行動を展開し、侵略戦争の実態を広く国民に訴えます。街頭宣伝、講演会、記念のつどいなど、各連合会・支部が創意工夫をこらした行動・行事にとりくみます。

九月の平頂山事件七五周年、十二月の南京大虐殺事件七〇周年については、中国各地の記念行事に参加することを柱とした訪中ツアーを「平和の旅」として計画します」と各連合会・支部からの、積極的な参加を呼びかけています。



栗山さんの梅華扇 京劇の紹介

各種表彰では、門真支部再建の中村健二府連理事が、三十年表彰は、恒岡正勝さんが、二十年表彰は、平松悦雄さんが、それぞれ代表して、長尾新会長から受け取りました。

大会祝賀会は来年公演予定の京劇「孫悟空」の表演や、栗山俊子さん（大阪府連理事）の梅華扇、民謡、ハーモニカなど多彩な出し物で盛り上がり、なごやかに歓談しました。沖繩代表も壇上で紹介されました。

昨年からの地道な努力が実り、全国大会を前にした五月六日、十九名が参加して「門真支部再建総会」が開かれました。

門真支部5月6日

念願の再建総会を開催

今橋已佐子常任理事もお祝いにつけ、古い貴重な日中の資料も披露されました。

隣の話されました。

「祝賀会」では参加者全員が、門真支部に対する熱い想いを語り、楽しい集いになりました。

大阪府連からは渡辺武会長、片山英徳理事長、高瀬龍二事務局長が、それぞれ、お祝いと激励を述べました。

第53回大阪府連大会 6月10日に開催

ホテルグリーンプラザ大阪

府連大会 13:30~16:30、

祝賀会 17:00~19:00

祝賀会参加費用：4000円、予約

は6月5日までに事務局まで

連絡先：大阪府連06-6372-8131



七三一部隊罪証陳列館の

王鵬館長を招いての

交流会開催される

四月十日、大阪市内で、八日に大阪で開催された「戦争と医学」展に関連した国際シンポジウム「戦争と医の倫理」にシンポジストとして来日された、中国ハルビン近郊にある731部隊罪証陳列館の王鵬館長をかこんで「講演と懇談、交流のつどい」が大阪府保険医協会、大阪民主医療機関連合会、日中友好協会大阪府連合会の共催で開催され

ました。これには、医療関係者や日中大阪府連の会員など五〇名が参加しました。王館長は731部隊陳列館の今後の課題について報告されました。また、日中友好についても「過去の第二次世界大戦争は日中両国に大きな被害をもたらした。平和であつてこそ日中両国に共に益がある」と述べられました。講演後の参加者からの質問

は、経済、憲法など多方面の分野からありましたが、王館長は一つひとつに丁寧に答えられました。大阪府連からも平和のための戦争展等の平和・不再戦の活動の取り組みが報告され、渡辺 武日中大阪府連会長が閉会のあいさつを述べました。

二部の懇親会はなごやかな雰囲気の中、訪中団でハルビンに参加した人達も参加し、王館長の「北国の春」の歌で盛り上がりしました。通訳には大阪府連中国語講座の白山講師が担当しました。

大阪きりえ展

六月四日(月)～九日(土) 十時～六時(最終日三時)
大阪府立現代美術センター
『全大阪きりえ美術展』は三十回を迎えます。これまで

の出品者をはじめ、多くの方々のご支援・ご協力により、続けていくことができました。今回、画集「大阪のきりえV」を刊行します。133名の方が作品を掲載されていますので、ぜひご覧下さい。なお、展覧会の会場がこれまでのところと変わっており、ますのでご注意ください。



また「日本きりえ協会会員展」が、六月十一日(月)～十六日(土)同会場で開催されます。合わせてのご高覧をお待ちしています。

チベットへ行くにはパスポート、ビザそれにチベット自治区政府の認可と、北京にある「青蔵旅遊局北京弁事処」で外国人入域許可書を発効してもらわなければ入国が出来ません。

青蔵鉄道の途中にあるタングラ駅は海拔5068m、当然沿線が一番高いところですが、また駅からタングラ山脈の最高峰(6621m)の雪を頂いた山々が見えます。

このあたりに差しかかると一番息が苦しく、ほぼ全員が高山病を経験するところです。当然乗務員も例外では有りませんが、列車の乗務中でありませんが、高山病対策として頻繁に休憩をし

ながら体調管理をします。しばらく走るとアムド駅、海拔4800mです。これを過ぎると沿線が一番の塩湖・ツォナ湖に一番近い所を通過し、雪景色と見間違ふほどの、広大で綺麗な塩景色に出会います。

(祝) 青蔵鉄道開通 ④

チベットに観光ブームが始まった

そしてダムション駅を過ぎるともう一息でラサに到着ですが、綺麗な溪谷、落差1000mに目も奪われます。

いよいよラサ駅到着です。開通当初(2006年七月)の乗降客は、一日2700人、

観光客目当てのタクシーが客待ちをしています。のんびりした風景です。ラサの寺院(ポタラ宮)は一日2100人の入場制限があり、観光客の増加からラサの自然や環境破壊を防ぐにはどうすればよいのか、チベット全体の自然をどう守るかは、これからの重要課題ですが、観光客のマナーも当然要求されます。寺院内は当然帽子の着用は禁止で敷居は踏んではなりません。

日本でもつい最近までは当たり前の習慣であったはずですが、現地の習慣に合わせる事は、自然を守るルールと同じです。(常任理事 松原弥寿夫)

太極拳教室案内

府連教室 開講中

なんば府立体育館など
月曜日午後六時三〇分から
西支部教室 開講中
北スポーツ・東梅田体育館
木曜日午後六時三〇分から

守口教室・第一中学体育館
金曜日・午後七時から

守口東部教室・東部公民館
土曜日・午後一時から

富田林教室 開講中
ケアセンター「けあばる」

水曜日午後六時三〇分から
詳細は府連事務局まで